

観察時のポイント

① 湧き水の観察

切り立った壁面の途中から水がしたり落ちる様子を観察できます。落ちてくる水をフィルムケースに集めて、透明度を見たり飲んだりすると、湧き水の清らかさに驚くでしょう。

どんな所から水が湧いてくるのかも考えさせてみるのも良いでしょう。

② 腐葉土の観察

落ちていた葉をめぐっていくと、下に行くほど葉が細かくなり土に変わっていく様子が分かります。

水のしみこみ具合を試してみても良いでしょう。

③ 樹木の根の観察

樹木の根が、いかに長くたくましいものかを観察できます。

「この根で岩や土を抱え込んでいるんだよ。」といった話をしても良いでしょう。

④ 命のつながりを考える

これはサワグルミという木（目印の木）の根の上を川が流れています。この木は川のすぐ近くにしかありません。実を川に落として下流で繁殖するためです。命のつながりという観点で森を見ることができます。

⑤ がけ崩れから考える

がけ崩れをおこしている場所をよく見ると、杉の木が伐採された跡が見られます。

③での観察と結びつけて、樹木が切られるとどんなことが起こるのかを考えるきっかけになります。

⑥ 木の根のトンネルの観察

穴から水が流れ出てきていますが、これは湧き水ではありません。木の根と根の間の土が削られ、トンネル状になった所を水が通ってきているのです。こんな森の不思議に触れるのも良いでしょう。

⑦ 木がねている理由を考える

ここを通る時、木がねていて歩きにくいことに気づくはずですが、そんな声が挙がったら、どうして木がねているのか考えさせてみてください。また、ねている木は共通して柔らかいという特徴があります。雪の重みでたおれたことに気づく子も出てくるでしょう。

⑧ ホースから考える

多くのホースが目につきます。それまでの川の様子からはかけ離れた光景に違和感をもつことでしょう。人間の手が入ったこの光景を見て、子どもたちがどう感じるかを大切にしてみてください。

⑨ 水量を比較する

これまで歩いてきた淵より手前の水量と2本目の道路を越えた所の水量が極端に違います。

この理由を考えさせてみてください。淵の中から水が湧いてきているのではないかと推測する子も出てくるでしょう。

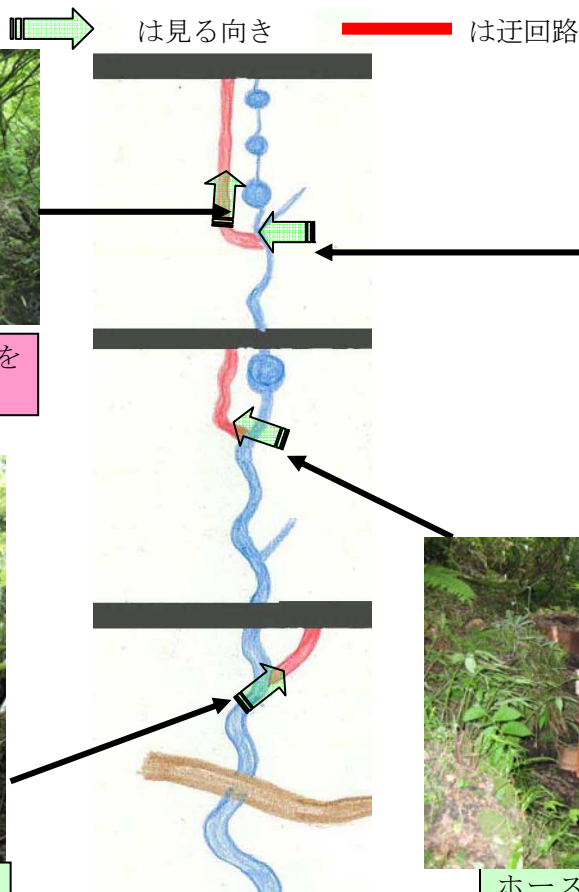
道しるべ



滑りやすく、淵の上の高い所を歩くので、要注意。



道路の下を通る大きな水路の手前に、右側に登る箇所あり。



大きな淵の手前に左に登る箇所あり。



ホースが見えてきた頃、大きな淵の手前に左に登る箇所あり。